

「基礎・基本」定着状況調査の結果

6月13日（火）に2年生を対象に行われた広島県「基礎・基本」定着状況調査の本校平均通過率をお知らせします。今後の大学入試制度改革に伴い、問題の傾向も変わってきています。いずれの教科においても問題文が長くなり、読み取る力が要求されています。問題によっては、最後まで問題文を読み切るのも大変なものもあります。広島県の公立高校入試問題も同様のことが言えます。日頃から、文字数の多い文章を読み、何が書かれ、何が問われているのか掴む力を付けていきたいものです。

	国語	数学	理科	英語
教科全体	67.7	66.1	48.1	67.9
タイプⅠ	68.9	69.2	51.2	71.6
タイプⅡ	62.5	55.7	43.5	47.0

※タイプⅠ…基本問題
タイプⅡ…活用問題

調査の結果を元に、今後の授業改善に取り組み、学力向上につなげていきたいと思っております。今後、県平均等も公表されますので、後ほどお伝えしたいと思います。

★ 文化面での活躍 ★

【第28回伊藤園お〜いお茶新俳句大賞】 佳作

3年 橋本まりか 「風鈴の音が溶け込む青い空」

昨年度、NEXCO西日本より、「尾道インターチェンジの花壇にパネルを設置するので、美木中学校の生徒さんに絵を描いて欲しい」とのご依頼がありました。美術部員が「おのみち」をテーマに図案を考え、当時の顧問である神田由美教諭がひとつにまとめました。

夏休みに入って、部活動で下書き、色塗りをを行い、先日完成しました。山陽自動車道から尾道への玄関口にふさわしい、素敵なパネルに仕上がっています。今秋には設置されるということです。尾道インターを利用される際には、是非、ご注目ください。



” 美木中のちょっとうれしい話と、かなり残念な話 ”

夏休み直前、残念なことが2つありました。2階男子トイレの洋式トイレのドアが、壊れたこと。そして、英語教室が荒らされた（約3分の1の椅子や机が倒され、いくつかの辞書が床に落とされていた）ことです。生徒から情報を求めたところ、トイレのドアについては、関わった生徒が名乗り出ました。「やってしまったことは正直に認めて謝罪し、次に向けて切り替えて生活していく」ことを願う我々にとっては、起きたことは残念ですが、申し出があったことは、うれしいことでした。

一方、英語教室の件については、情報を元に話を聞いてみましたが、事実は不明のままで解決できませんでした。間違いなく美木中生がやったことにもかかわらず、関係者の申し出がないことは、残念でなりません。

今後も、間違いを起こしてしまったら正直に言ってもらいたいし、このような「誰がやったかわからない」出来事がないことを心から願っています。

教職員としても、正直で素直な美木中生徒を育てていきたいと思っています。